

令和8年(2026年)5月29日	
所 属	文化振興課
所属長	荻田 昭憲
電 話	06-6489-6385

令和8年度尼崎市民芸術賞の募集を行います

1 趣旨

尼崎市は、令和8年度尼崎市民芸術賞の募集を行います。この賞は、市民の芸術文化創造への意欲を喚起し、本市の芸術文化の振興を図ることを目的としています。

2 表彰基準

次に掲げる要件の全てを満たす者。

- (1) 出身地、在住地、在勤地若しくは活動拠点のいずれかが本市内にあり、又は本市内での活動が顕著であること。
- (2) 活動又は作品が芸術性の高い優秀なもので、全国規模の活動を展開していること。

【活動分野】

文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、メディア芸術、その他の芸術

3 受賞者の決定

- (1) 応募（自薦・他薦可）があった候補者の中から受賞者を決定します。
- (2) 受賞者には、表彰状及び副賞が贈られます。
- (3) 受賞者は、1人とします。

4 推薦方法

「尼崎市民芸術賞候補者推薦書」に必要事項を記入の上、下記受付期間内にメール又は郵送にて提出してください。

※募集案内、推薦方法等の詳細は、下記 URL をご参照ください。

<https://www.archaic.or.jp/news/detail.php?id=682>

<受付期間>

令和8年(2026年)6月10日(水)～7月10日(金) (必着)

<提出先>

〒660-0881 尼崎市昭和通2丁目7-16

公益財団法人尼崎市文化振興財団 美術課美術担当 9時～17時

※火曜日休業

TEL 06-6487-0806 / FAX 06-6482-3503 / E-mail bunka@archaic.or.jp

<提出書類・資料>

- (1) 尼崎市民芸術賞候補者推薦書
- (2) 選考の参考になる資料(3つまで)

(例) 作品集・チラシ・プログラム等の印刷物、写真、DVD、CD 等

5 昨年度の受賞者について

令和7年度尼崎市民芸術賞受賞者 マイム いいむろ なおき 氏

以 上

尼崎市民芸術賞

推薦募集 (自薦・他薦可)

芸術性の高い作品等を創作し全国規模の活動を展開している方や
尼崎市の文化振興に大きく貢献された方を表彰します。

募集期間

令和8年 (2026年) 6月10日(水) ~ 7月10日(金) 《必着》

表彰基準

次に掲げる要件の全てを満たす者。

1. 出身地、在住地、在勤地もしくは活動拠点のいずれかが尼崎市内にあり、又は尼崎市内での活動が顕著であること
2. 活動又は作品が芸術性の高い優秀なもので、全国規模の活動を展開していること

【活動分野】文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、メディア芸術その他の芸術

応募方法

1. 「令和8年度尼崎市民芸術賞 推薦要領」をご確認の上、候補者推薦書に必要事項をご記入ください。(自薦・他薦可) ※要領及び推薦書は、下記の二次元コードのページからダウンロードいただけるほか、尼崎市役所(中館7階 文化振興課)、市内公共施設等で配布しています。
2. 推薦書に、活動内容がわかる参考資料を同封し、下記提出先までメール又は郵送で提出してください。(例)作品集・チラシ・プログラム等の印刷物、写真、DVD、CD等

応募・問合せ先

〒660-0881 尼崎市昭和通2丁目7-16 公益財団法人尼崎市文化振興財団 美術課
TEL : 06-6487-0806 / FAX : 06-6482-3503 / E-mail : bunka@archaic.or.jp
【営業時間】9:00~17:00 ※火曜休業



令和7年度 尼崎市民芸術賞受賞者

マイム いいむろ なおき 様

令和8年度
尼崎市民芸術賞
推薦要領

締切日 令和8年7月10日(金)

【推薦方法】

1. 推 薦 書 「尼崎市民芸術賞候補者推薦書」による
2. 募 集 期 間 令和8年6月10日(水)～7月10日(金)＜必着＞
3. 提 出 先 尼崎市昭和通2丁目7-16(〒660-0881)
(公財)尼崎市文化振興財団 美術課美術担当
T E L : 06-6487-0806
F A X : 06-6482-3503
Eメール : bunka@archaic.or.jp

「尼崎市民芸術賞」表彰要綱

1 実施の目的

この表彰は、芸術性の高い優秀な作品等を創作し、全国規模の活動を展開している者を顕彰することによって、市民の芸術文化創造への意欲を喚起し、本市の芸術文化の振興を図ることを目的とする。

2 賞の名称

尼崎市民芸術賞（以下「芸術賞」という。）と称する。

3 表彰を受ける者

次に掲げる要件の全てを満たす者であって、第5項第2号の規定により置かれた選考会による選考を経て同項第4号の規定による決定を受けたものとする。

- (1) 出身地、在住地、在勤地若しくは活動拠点のいずれかが本市内にあり、又は本市内での活動が顕著であること。
- (2) 活動（文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、メディア芸術その他の芸術についての活動をいう。以下同じ。）又は作品（活動によって生み出された作品をいう。以下同じ。）が芸術性の高い優秀なもので、全国規模の活動を展開していること。

4 事務の役割分担

芸術賞の授賞に関する事務は、令和5年3月31日に市と公益財団法人尼崎市文化振興財団（以下「財団」という。）との間で締結された「文化振興事業の実施に係る協働契約書（補助金型）」の定めるところにより、市及び財団が役割を分担して行う。

5 選考方法及び表彰を受ける者の決定

- (1) 財団は、公募による自薦若しくは他薦により受賞の候補者を募集し、当該候補者のうち、第3項第1号に掲げる要件を満たし、かつ、その推薦書が遺漏なく適正に記載されていると認められるものの一覧表を作成する。
- (2) 財団は、公正かつ適切に選考を行うために選考会を設置し、その意見を聴く。この場合において、選考会の事務局は財団に置く。
- (3) 選考会は、委員5人以内で組織し、委員は、文化芸術に精通している者その他財団が適当と認める者とする。委員の任期は2年とする。ただし再任することを妨げない。再任による任期は最長で5期10年までとする。
- (4) 財団は、選考会の結果を市に報告し、市は、選考会の意見を踏まえて、表彰を受ける者1名を決定する。

6 表彰

- (1) この表彰は、原則として年1回行う。
- (2) 前項第4号の規定による決定を受けた者には表彰状及び副賞を贈る。

7 その他

この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行について必要な事項は、所管課長が財団と協議して定

める。

付 則

この要綱は、昭和39年6月1日から施行する。

<以下改正履歴>

平成2年7月20日 一部改正
平成7年7月20日 一部改正
平成29年6月6日 一部改正
平成30年5月7日 一部改正
令和2年5月8日 一部改正
令和3年5月19日 一部改正
令和4年5月20日 一部改正
令和5年5月30日 一部改正
令和8年5月7日 一部改正

尼崎市民芸術賞候補者推薦書

候補者	ふりがな		生年月日	大・昭 平・令	年 月 日 (歳)	
	氏名					
	ふりがな					
	住所	〒				
	T E L		職 業			
	Eメール					
	本市との 関わり	<input type="checkbox"/> 尼崎市出身 <input type="checkbox"/> 市内に居住 <input type="checkbox"/> 市内に勤務 <input type="checkbox"/> 市内に活動の拠点がある <input type="checkbox"/> 市内での顕著な活動がある		所 属		
活動分野	<input type="checkbox"/> 文学 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 演劇 <input type="checkbox"/> 舞踊 <input type="checkbox"/> メディア芸術 <input type="checkbox"/> その他の芸術()					

推薦理由

○当賞にふさわしいと推薦する理由を、芸術文化の振興、地域への貢献が分かるよう具体的にご記入ください。

○経歴(活動歴、受賞歴等)

(記入例)昭和〇〇年〇月兵庫県尼崎市生まれ、平成〇〇年3月〇〇大学〇〇学部卒業

○特筆すべき活動歴

時期、活動内容が分かるよう箇条書きでご記入ください。

(記入例)平成〇〇年〇月〇日 〇〇(場所・会場)にて「〇〇〇〇」を開催。平成〇〇年〇月「〇〇」を出版。

【必須】選考の参考になる資料(例)作品集・チラシ等の印刷物、写真、DVD、CD等を3つまで推薦書に同封ください。

「尼崎市民芸術賞」表彰要綱第3項各号に掲げる表彰要件の全部に該当するものとして、上記の者を推薦します。

令和 年 月 日

推薦者	ふりがな		TEL	
	氏名		Eメール	
	ふりがな 住所	〒		
	候補者との関係	(所属団体の会員を推薦等があれば記載)		

「尼崎市民芸術賞」及び「芸術奨励賞」過去の受賞者名一覧

回	年度	賞	氏名	部門
1	昭和39年	芸術	前田 正夫	洋画
		奨励	田辺 聖子	文学
2	昭和40年	芸術	白髪 一雄	洋画
		奨励	布田 源之助	随筆
3	昭和41年	芸術	岡本 静心	文学
		奨励	増山 浩康	日本画
4	昭和42年	芸術	大高 猛	グラフィックデザイナー
		奨励	野田 房吉	和船模型
5	昭和43年	芸術	伊丹 三樹彦	俳句
		奨励	荻原 一青	日本画
6	昭和44年	芸術	岩宮 武二	写真
		奨励	池水 慶一	造形美術
7	昭和45年	芸術	前川 龍山	書道
		奨励	一輪亭 花咲	芸能
		奨励	小林 陸一郎	造形美術
8	昭和46年	奨励	伊丹 公子	文学
		奨励	長久 大徳	書道
9	昭和47年	芸術	桂 米朝	芸能
		奨励	清水 影村	書道
10	昭和48年	芸術	穎田島 一二郎	文学
		奨励	中村 百合子	洋画
		奨励	園部 琴城	書道
11	昭和49年	奨励	片岡 敏男	写真
		奨励	森田 峠	俳句
		奨励	和田 正義	彫刻
12	昭和50年	芸術	豊竹 団司	義太夫
		奨励	小山 鳥雲	書道
13	昭和51年	芸術	佐藤 宋石	書道
		奨励	赤井 藤男	能楽
14	昭和52年	芸術	三村 幸一	写真
		奨励	有方 敏郎	洋画
15	昭和53年	芸術	小寺 勇	俳句
		奨励	木村 四郎	声楽
16	昭和54年	芸術	前田 野生子	俳句
		奨励	萩本 紫苑	書道
17	昭和55年	芸術	中村 茂雄	洋画
		奨励	小林 志保里	書道
18	昭和56年	芸術	井上 大疆	書道
		奨励	田中 修二	音楽
19	昭和57年	芸術	菖蒲 洸	日本画
		奨励	吉田 廣喜	現代美術
20	昭和58年	芸術	竹田 長年	洋画
		奨励	西川 香龍	書道
21	昭和59年	芸術	赤羽 恒男	洋画
		奨励	小林 とし	音楽
22	昭和60年	芸術	藪田 泰生	書道
		奨励	有野 永霧	写真
23	昭和61年	芸術	木川田 誠	声楽
		奨励	坪内 稔典	俳句 評論

回	年度	賞	氏名	部門
24	昭和62年	芸術	富田 克	洋画
		奨励	村上 宋苑	書道
25	昭和63年	芸術	中島 双風	俳句
		奨励	田崎 徹	洋画
26	平成元年	芸術	嶋中 蓬春	書道
		奨励	松田 彰	現代美術
27	平成2年	芸術	亀井 幸太郎	染色図案
		奨励	山村 啓雄	能楽
28	平成3年	芸術	吉原 栄徳	文学
		奨励	辻井 清幸	音楽
29	平成4年	芸術	望月 美佐	書道
		奨励	松尾 昌美	指揮
30	平成5年	芸術	山岡 哲山	吟詠
		奨励	星野 尚	タラセア
31	平成6年	芸術	吉田 泰巳	茶華道
		奨励	笠井 隆良	洋画
32	平成7年	芸術	栗山 昌良	オペラ演出
		奨励	尼子 騒兵衛	漫画
33	平成8年	芸術	武下 和平	奄美民謡
		奨励	芦原 昌子	声楽
34	平成9年	芸術	安 迪	日本画
		奨励	坂上 弘志	器楽
35	平成10年	芸術	古谷 充	器楽
		奨励	山岡 桜山	吟詠
36	平成11年	芸術	木村 吉宏	指揮
		奨励	浜本 隆司	現代アート
37	平成12年	芸術	宗清 洋	器楽
		奨励	本家 規代	器楽
38	平成13年	芸術	藤間 勘二郎	邦舞
		奨励	阪本 朋子	器楽
39	平成14年	芸術	有野 永霧	写真
		奨励	吉田 早夜華	声楽
40	平成15年	芸術	桂 吉朝	芸能
41	平成16年	芸術	古澤 巖	器楽
		奨励	石本 興司	演劇
42	平成17年	芸術	横田 浩和	声楽
		奨励	金子 浩三	音楽
43	平成18年	芸術	内藤 裕敬	演劇
		奨励	小西 潤子	声楽
44	平成19年	芸術	山本 昭子	染色
		奨励	橘 久美子	演劇
45	平成20年	芸術	辻井 清幸	指揮
		奨励	尾崎 比佐子	声楽
46	平成21年	芸術	河井 喜代子	染色
		奨励	畑田 弘美	声楽
47	平成22年	芸術	川口 和彦	洋画
		奨励	牧村 邦彦	指揮

